



1月7日 松尾地区で231人が成人式を迎えた。

# まつお新聞

発行所  
飯田市松尾公民館  
編集人  
松尾公民館広報委員会  
印刷：龍共印刷(株)

## 成人式を終えて

成人式実行委員 熊谷駿哉(八幡町区)



2018年1月7日、私たちは人生の節目である成人式を無事に迎えることが

出来ました。今まで支えてくださった多くの方々がいたから迎えることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。成人式前や祝賀会では、高校に進学するに当たり別れてしまった小学校から先生方と、近況や懐かしい思い出などを話し、有意義

な時間を過ごすことが出来ました。私は現在、北陸の大学へ進学をしており、土地も気候も違う場所で勉強をしております。住み慣れたふるさとを離れてもうすぐ3年が経とうとしています。家族の温かさ、ふるさとのおいなどが恋しくなることが多いです。松尾というふるさとが私にとって大切なものだと感じる事が出来ました。私は、就職はこの生まれ土地で役に立ちたいと考えており、戻ってくることを考えております。今

の生活でも失敗、挫折、悩みは多く、半人前以下ではあります。いつか胸を張って帰れるよう日々努力していきます。



成人式の司会進行をする熊谷さん

新聞で「18歳になつたら大人。子供の意志を尊重して職業選びは本人に任せる」という意見を読み、思い出した▼友人の長男が専門学校を卒業するとき「小説家になりたいから就職はしない」と言った。母親としては心配で、まずは反対してしまつたが、ご主人に「専門学校までいかせたんだ、もう親の役割は終わった。あとは本人に任せよう」と言われたことで、仕方なく認め、段々と「これで良かったのだ」と思うようになった。実際、自分がそんな立場になつたら慌てふためいてしまふと思う▼目まぐるしく変わっていくこの時代、今までは無かつたような新しい職業もある。「中高生のなりたい職業ランキング」に「ユーチューバー」が入っている。昭和世代の私の目から見れば「え？」である▼固い頭では世の中の流れについていけないのかもしれないが、よくよく考えてみると、いつまでも子供の面倒を見続けるわけにはいかないし、生きていくのはその道を選んだ本人。やはり親としては、話を聞き、助言し、見守り、エールを送る良いサポーターでいなければいけないと思う。

## ようこそ松尾へ

明区 加藤杏奈さん

まつお新聞ではこれまで「松尾のいいところ探し」として、各区の宝・人物・遺跡などを紹介してきました。2月3日・4日の文化祭で実施したアンケートでは、これからの松尾に期待することとして「明るく温かい松尾」「人口の増加」の回答が多数見られました。今回より始まる企画「ようこそ松尾へ」では、松尾地区に転入してきた皆さんから松尾の印象を聞き、これから松尾について考えていきたいと思います。

第一回目は、明区の加藤杏奈さんです。さっそく松尾について聞いてみました。



インタビューに答える加藤杏奈さん

- Q** 松尾に住んでどのくらいですか？  
**A** 八幡町区に4年、現在の明区に住んで半年になります。
- Q** 以前はどこにお住まいでしたか？  
**A** 結婚当初は主人の実家に近い泰阜に2年住んでいました。その後通勤の便を考えて松尾に移りました。
- Q** 松尾に住んで良かったと思う点は何ですか？  
**A** 暖かくて雪が少ないことと、保育園や学校が近く、また買い物しやすいことです。
- Q** 松尾地区に改善してほしいことや、これからの松尾に期待する点を教えてください。  
**A** 道が狭く朝夕に車が混むため、子供たちの通園や通学が心配です。それから、これは松尾地区ではなくて飯田市に希望ですが、ごみ袋の値段が他の市より高いので安くなると嬉しいですね。



ご主人と2人のお子さん

- Q** 松尾地区をPRするとしたら？  
**A** 松尾は子育てしやすい環境だということです。
- Q** 松本出身の加藤杏奈さん、現在はご主人の勝則さんと、2人のお子さんの4人家族。「松尾には子育て世代が多く、相談ができる環境がある」と語ってくれました。加藤さん、ご協力ありがとうございました。

みんなの力でより良い松尾に！

|             |
|-------------|
| 松尾の人口       |
| 男子 6,160人   |
| 女子 6,816人   |
| 計 12,976人   |
| 世帯数 4,974世帯 |
| 2月末現在       |

# 松尾地区文化祭

# 今年もにぎやか

2月3日と4日の2日間、松尾地区文化祭が松尾公民館で行われ、芸能発表会や作品展などを、およそ1000人が鑑賞した。

毎年恒例の商工会女性部による豚汁の無料配布や食生活改善推進協議会による試食コーナー、文化委員会によるおしるこ提供は人気で、企

画したスタッフらは汗だくになっていた。婦人会による水引ストラップは今年新しい試みで、大勢の区民が体験していた。保健推進委員会のパネル展示や、がん検診を勧めるためのトイレットペーパー配布もあった。広報委員会企画の「アンケート」に答えてまつお新聞に載ろうというはオリ

ジナル新聞が約300部発行されるほど大盛況だった。

日頃の文化活動の成果を、より多くの区民に見てもらおうと、文化委員や分館、出展者らは、毎年試行錯誤してこの催しを作り上げている。その力があつて盛り上がった文化祭であった。



たいしたものだなあ～



「ポンッ！」さあできたぞ！



風船を配る消防団



ポン菓子にみつをからめて



パトカーに乗ったよ



決まった！テックレンジャー



婦人会企画水引を使った「カラフルストラップ」作製体験



太陽がん撲滅トイレットペーパー



おもしろ科学教室の「ふしぎなミラーボックスを作ろう」

講演の後、参加者らは6つの分科会に分かれて意見交換会を行った。

第2分科会「地域の子ども達につい

た。

講演の後、参加者らは6つの分科会に分かれて意見交換会を行った。

2月18日第55回飯田市民館大会が飯田市民館で行われた。

今年度は、佐藤一子氏（東京大学名誉教授、聖学院大学大学院非常勤講師）が、岩手県遠野市と山形県鶴岡市の事例から「地域文化が若者を育てる」をテーマに基調講演をした。子供や若者の育ちを人形劇フェスタとの関わりにつなげ、「飯田市が国際文化交流都市として発信力を向上させるためには、この活動を、住民と協同して持続発展させなければならぬ」と語った。

「松尾地区文化祭の歴史とともに、多くの人が集い交流する場を提供するのテーマのもと、文化祭が行われま

した。

今年度新たに、ポン菓子配布、パトカー展示、飯田OIDE長姫高校原動機部「省エネルギー競技用電動車両」展示が行われ好評でした。また、「お手軽カメラで写真展」も多くの作品の応募がありました。

「お手軽カメラで写真展」のテーマもすでに「花」に決定しており、また、ご意見・ご要望をお寄せください。



て語ろうと私たちができること」では、話題提供として上村で活動する「かみむらつこ応援団」の発表があった。この団体は、全校生徒9人の上村小学校の学習支援・伝統食の調理体験・霜月祭をはじめとした伝統文化継承などの活動を行っている。現在、少子化や若者の流出に伴い年々子供の人数が減少していくため学校の存続が危ぶまれ、「小規模特認校制度（特色のある教育を行

う小規模校へ学区外から就学できる制度」を活用している。制度の活用のみならず、SNS・新聞・広報誌を通して情報発信を続け児童の増加につなげたいと発表した。

第3分科会「ふるさと学習」地域の宝に込められた先人の想いを探る」では、上郷公民館の「久遠の会」宮澤傳二さん、篠田欽一さんが、「学習教材編集に参加し自ら勉強し学習を進めていくと、先人らの姿、残した物、足跡などから、先人の想いや願いが見えてきた。その中の一つが井水だった」と話し、現代社会は地域とのつながりが希薄でも生活をしたいける時代だが、自分たちも地域のことを少しでも学ぶことによって地域を身近に感じ、子供たちに伝えていきたいなどの意見が出された。

「松尾地区文化祭を終えて」文化委員長 熊谷 吏花

来年度の「お手軽カメラで写真展」のテーマもすでに「花」に決定しており、また、ご意見・ご要望をお寄せください。

第5分科会「地域課題にせまる館報・広報」では、南信濃公民館広報委員長の山崎元宏さんが館報「やまな

が感じられる分科会であった。

☆平成29年度教育功労者表彰者は次のとおり

- ・丸山基治さん（新井区）
- ・丸山香織さん（新井区）
- ・明石茂樹さん（寺所区）
- ・塩澤一友さん（明区）
- ・奥村和徳さん（代田区）

公民館委員らの熱い思いが感じられる分科会であった。

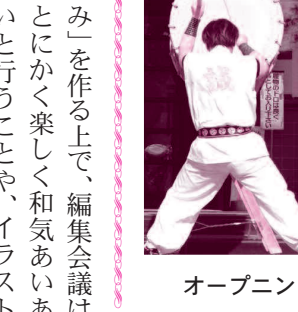
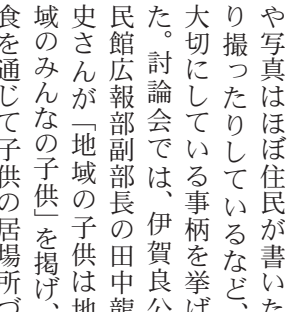
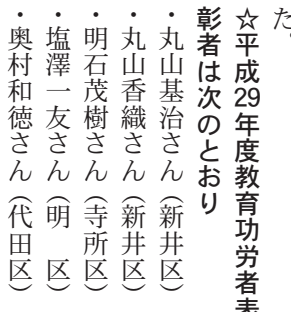
☆平成29年度教育功労者表彰者は次のとおり

- ・丸山基治さん（新井区）
- ・丸山香織さん（新井区）
- ・明石茂樹さん（寺所区）
- ・塩澤一友さん（明区）
- ・奥村和徳さん（代田区）

み」を作る上で、編集会議はとにかく楽しく和気あいあいと行うことや、イラストや写真はほぼ住民が書いていたり撮ったりしているなど、大切にしている事柄を挙げた。討論会では、伊賀良公民館広報部副部長の田中龍史さんが「地域の子供は地域のみんなの子供」を掲げ、食を通じて子供の居場所づくりをした子供食堂の取り組みについて話した。

「松尾地区文化祭」

オープニングは常盤太鼓「心SHIN」



第5分科会のひとコマ

オープニングは常盤太鼓「心SHIN」





土俵づくりにスコップを握る小木曾会長

この3月末をもちまして2期4年間のまちづくり委員会委員長の役割を退任いたしました。この間、皆様方から格別のご支援・ご指導を賜り、また様々な事業にも積極的にご参加、ご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。4年間の思い出は尽きませんが、そのひとつが土俵です。松尾財産区有林から伐り出した樹齢90年の檜

を4隅の柱材として使った屋根付土俵を城公園内に整備しました。「木曾相撲連盟」の皆様にご依頼の指導をいただき、役員の皆様にも土俵の土を均すなどの協力をお願いして完成し、平成27年12月に大相撲津田さんをお招きして土俵開きを行うことができました。この土俵で松尾の子供たちが稽古を積んで、「御嶽海」に続く郷土力士が誕



完成した土俵で小学生らが稽古に励んでいる

生してくれたらと夢を描いています。地域の皆様のご支援に重ねて感謝申し上げます。松尾の益々の発展を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。

### 退任あいさつ

まちづくり委員会会長 小木曾博人

### 11月までのお楽しみ

## 明区味噌作り

3月3日・4日、明コミュニティ防災センターで、両壁俵の会(小林春雄会長)による味噌作りが行われた。

1日目:大豆10kgを洗い水に浸した。灰汁を取りながら4時間半ほど煮込み、その間に麴をほぐし丹念に塩を混ぜ込み(塩切り)翌日の仕込みまで寝かせた。

2日目:雑菌が混入しないよう全員マスク手袋姿で仕込みをする。前日に煮込んだ大豆をすり潰し、塩麴と丹念に混ぜ込み味噌玉を作り、この味噌玉を桶(バケツ他)に1つつ入れ、空気が入らないよう拳で圧縮しながら丁寧に詰め込んだ。上面を平らに整えてから味噌の表面にラップを密着させて敷き、この上に防菌と重石を兼ねた塩を乗せ、蓋をかぶせて仕込み完了。

11月頃には美味しくなっているとのこと。どんな味がするか今から楽しみだ。



あくをていねいに取る



空気が入らないようにね

### 明区両壁俵の会

平成22年に、両壁神輿を考える会から始まり両壁俵の会として同年に発足した。俵神輿の作成護持し、明区に関わる歴史を学び継承、例大祭を通じて世代を超えた区民の交流を図ることを基本方針とする。明区を盛り上げるために、これまでも遊休農地を利用してのそば作りを行ってきたが、畑に朝顔のたねが混じるなど、そばの栽培が困難になったことから、今年度は大豆を栽培し味噌作りをすることとなった。

### 踊って交流 食べて交流

#### 多文化交流会

2月25日、常盤台集会所で松尾公民館と常盤台分館主催、飯田国際交流推進協会と男女共同参画課協力の多文化交流会が行われた。毎年行われているこの会は、多文化の交流を目指し、中国料理と日本料理を食べながら交流を深めた。



華やかな色の扇子が印象的

日本食では、つきだての餅をあんころ餅、きなこ餅、雑煮に調理した。餅つきでは、つき方を教えるながら「よしよ、よしよ」との掛け声とともに盛り上がりを見せた。中国料理タークアズとマーフアーは中国の一般家庭でよく作られている菓子で、マーフアーは揚げパンに似てほんのり甘い。タークアズもパンに似た食感で豆乳につけて食べる少し変わった菓子。茶話会ではそれぞれの料理を味わった。中国の踊りを皆で踊ったり、ピアノの伴奏に合わせて日中両国の懐かしい歌を歌ったりした。日本舞踊の披露もあり、最後にはビンゴゲームで大いに盛り上がった。お互いの文化を知り、和やかな雰囲気の中で交流出来る貴重な機会となった。

### やった!! ストライク

#### 熱気あふれるボウリング大会



おめでとう! 優勝は17番組の橋爪法男さん(右側)

大会から運営に携わる山口浩さんは最近では囲碁ボールやふらばーるバレーなど地区内で行われる冬のスポーツ企画も増えてきたが、このボウリング大会を楽しみにしている人もいます。14年も続けてくれてとてもありがたいことだ」と語った。大会の優勝者には塩澤廣明分館長より、毎年受け継がれている大きなトロフィーが手渡された。

### 寒さ吹き飛ばす

#### 囲碁ボール大会

例年になく寒さが続いた1月から2月、松尾地区では分館主催の囲碁ボール大会が、各地区で開催された。1月21日の城分館組合対抗囲碁ボール大会では、朝早くから松尾公民館で16組約100人が参加し6コートに別れて熱戦が繰り広げられた。朝から寒かったが、床暖房と区民の熱気で会場は暖かくなり、楽し気な笑い声や応援する大きな声が続いていた。



囲碁ボールも難しいじゃないかなー 城区

良かった! 「経験者がアドバイスしてくれたので、例年になく良い結果を残せてよかった」などの声が聞かれた。

#### 久井区分館

2月11日、久井集会所で体育部主催の伍組対抗囲碁ボール大会が開催された。参加者27人で6チームが編成され、各チーム優勝を目指してゲームを楽しんだ。相手のプレーの時に絶妙なタイミングで声を掛け、それに惑わされて打ち損な



狙いを定めてエイー 久井区

#### 八幡区分館

分館主催の八幡町囲碁ボール大会が2月18日に八幡町公会堂で行われた。参加者は20人と少なかったが、優勝賞品を目指して熱のこもった試合となり、2時間の大会を楽しんだ。



うれしい賞品に思わず笑顔 八幡町区

